



広東省で1万人以上がデング熱に感染 この流行の波はいつ終わる？

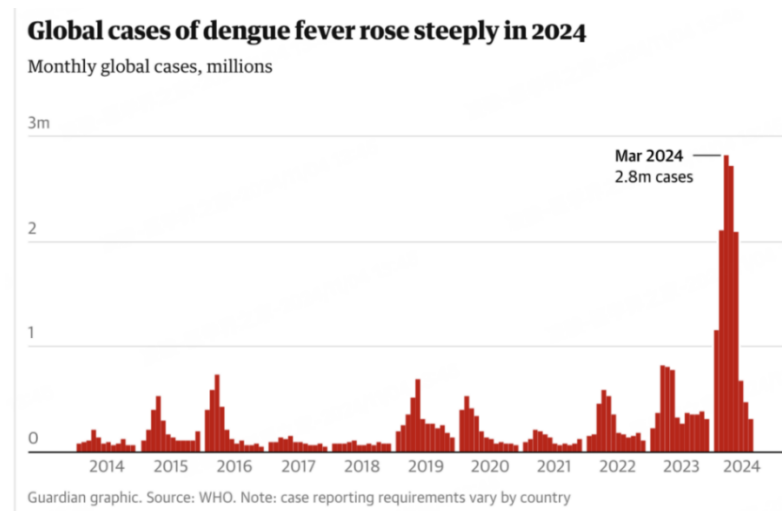
騰訊新聞 new.qq.com 2024-11-04 19:03 来源: 医学界官方账号

デング熱ウイルスの二次感染後に重症度が大幅に高まる可能性。

広東省疾病管理センターが発表した最新の「デング熱流行監視状況」によると、**10月21日～10月27日**の間に広東省では**1,785**例のデング熱症例が新たに報告されている。

9月9日～10月27日、広東省が報告したデング熱症例は累計**1万295**例に達した。

デング熱は、蚊によって媒介されるウイルスの一種で、気候や都市環境の変化などにより、過去**2**年にわたり世界中で大規模に発生した。昨年、世界の感染者数が「史上最多」となる**650**万例を超え、今年に入ってから累計感染者数は**1270**万例を超えた。



2024年 世界のデング熱感染者数が急増

中国はデング熱の「輸入地」であり、周辺地域の影響を受け、今年もデング熱の流行状況も比較的深刻なものだ。

「今シーズンは期間の長さという特徴があり、およそ春から夏までずっと続くでしょう。」広州医科大学附属第八医院感染症センターの蔡衛平主席専門家は「医学会」に対し、「(デング熱)の感染ピーク期は例年とさして変わりがない。気候が涼しくなるにつれ、流行も減ってくるだろう。」と語る。

感染者の3分の1近くは「典型的症状」

広東省各地の疾病管理当局は**9**月以降、デング熱が流行期に入ったと相次いで発表、第**39**週(**9月23日～9月29日**)には新規感染者数が初めて**1000**例を超えている。

10月21日、広東省疾病予防管理センターは**10**月前半の「蚊マップ」を発表、省内で媒介蚊であるネタイシマカの高密度監視ポイントが存在する計**13**の町や通りを監視しているが、うち広州市が**3**か所で最多となるが、これに珠海市、深圳市、恵州市の各**2**件が続いている。

「第一財經」によれば、ベッド不足解消のために、広州の三甲医院(宮本注:中国ではトップクラスに位置する等級の病院のことです)はこれまで中医科や呼吸器内科の病棟デング熱患者の治療に使用していた。**11月1日**、広州 CDC は、**10月31日**時点で計**156**の街道(中国の集落単位)でデング熱の治療が実施されているが、感染リスクが存在しているとの文書を微信の公式アカウントに発表した。

深圳市疾病管理センターは**11月2日**、今年もデング熱の輸入および本土における流行リスクが高く、依然として好発時期にあると注意喚起した。現在、深圳市は福田区や羅湖区、南山区などの**8**地区で**25**の社区(いわゆるコミュニティのことです)で本土症例の処置活動が実施されている。

今回の流行が始まって以降、仏山市は広東省でデング熱症例が最多となっており、**9**月と**10**月で既に計**2,935**例が報告されている。

昨日(**11月3日**)、仏山市復禅誠医院感染症科の医療スタッフは「第一財經」に対し、同科室の病床数は依然かなり逼迫状況にあると語った。「入院後**1**週間程度で退院できる患者もいらっしゃいますが、長期に

わたる患者もいることから病床回転率が下がっています。」

蔡衛平は『医学界』に対し「デング熱ウイルスに感染した人の大多数は軽傷だが、発熱や筋肉痛などの臨床症状はインフルエンザと似ており適切な解熱剤を服用し自宅で休めば徐々に回復する」と語った。

登革熱の典型症状

高热：突发高烧（40℃以上）；
三痛：剧烈头痛、眼眶痛、肌肉骨骼关节痛；
三红：面红、颈红、胸红；
皮疹：四肢躯干或头面部，出现充血性皮疹或点状出血疹。

📷 写真の文字起こし翻訳です

デング熱の典型的症状：

高热：突然の高熱（40℃以上）；
三つの痛み：激しい頭痛、全身の関節痛、筋肉痛；
三つの紅潮：顔や首、胸の紅潮；
皮疹：四肢や体幹、頭、顔などに現れる鬱血性発疹や点状出血性発疹。

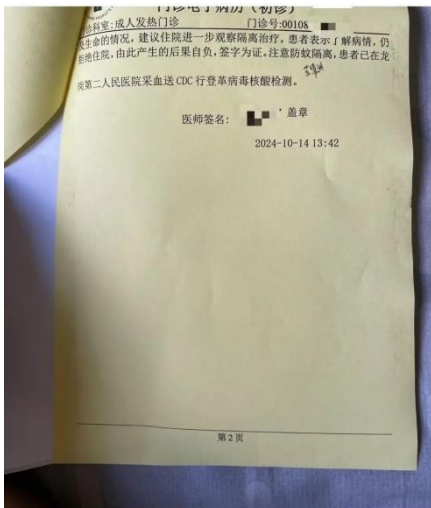
出典：広東新聞チャンネル公式微博

しかし、一部の患者にとってはデング熱ウイルスへの感染はそれほど「快適なもの」ではない。ソーシャルプラットフォーム上では、多くの患者が感染後に 40 度の高熱が出、同時に激しい頭痛や筋肉痛、全身の紅疹、悪心、嘔吐などを伴い、この症状が数日間続いたとしている。

蔡衛平氏は『医学界』に対し、患者の 3 分の 1 近くは「典型的な症状」に属しており、いわゆる「中等症患者」と呼ばれる、主に重度で耐え難い痛みを特徴とする「典型的な症状」を有していると説明する。「でも、『典型的な症状』を有するすべての患者が入院を必要とするわけではありません。临床上主要な根拠となるのは、明らかな出血の有無や肝臓、腎臓、心筋などの損傷の傾向に基づき総合的に判断されるものです。」

“除了常规的解热镇痛药，目前并没有太好的方式能迅速缓解不适症状或缩短病程。”

「現時点では、従来の解熱鎮痛剤以外に症状の迅速な緩和や病気の経過を短縮する良い方法はありません。」蔡衛平は、デング熱は自然治癒する病気であり、その患者は症状が治まるまでの 5~7 日間の急性期を辛坊し続けねばならないと述べた。



出典：インターネット

しかし、蔡衛平はまた、自宅療養中に、けいれんや胸悶、動悸、心拍上昇或いは鼻血や月経以外の性器出血などの症状が発生した場合、心筋の損傷や血小板の異常を引き起こしているか否かに注目し、早急に病院を受診し検査と評価を受けねばならないとしている。

二次感染の可能性があるのでイブプロフェンは使えない？

9月26日、国際感染症学会 (ISID) の公式ジャーナル「IJID Regions」に掲載された記事では、世界的には、通常原発性デング熱ウイルスの感染による致死率は低く、約 0.01%~0.1%と推定されていると指摘されている。デング熱ウイルスに二次感染した場合の重症度は急激に上昇し、致命率が 1%~4%に達することがある。

「続発感染」とは二次感染を指す。現在、デング熱ウイルスには 4 種の血清型があり、異種間の株では交差免疫防御が弱いことと抗体依存性感染増強 (ADE) 効果があるために、感染者が再感染することが有りえるとともに 2 度目に感染した場合、症状が初回感染の

それより重篤化することがあるのだ。

蔡衛平氏は「短期間での二次感染や高齢、基礎疾患、肥満或いは栄養失調者はいずれも重症デング熱の高リスク要素となる」と述べた。重症患者は入院治療が必要となるが、主な介入方法には重要な臓器の支持療法やショック療法、患者の体液量の維持などが含まれる。

『 Dengue熱の診療ガイドライン (2024年版) 』は「重症患者の早期発見と速やかな治療が死亡率を下げる鍵となるが、主な治療法は対症療法が主となるが、現在、有効な抗ウイルス治療はない。患者は防蚊隔離治療が必要となるが、症状が 5 日以上続き、24 時間以上経過し、体温が自然に正常に下がった場合、隔離を解除することができる」と指摘している。

注目に値するのは、『ガイドライン』で、対症療法として、高熱が続く人にはアセトアミノフェンなどの解熱剤を使用し、アスピリンの使用を避けるようにと指摘していることだ。11 月 2 日、深圳疾病管理センターもまた Dengue熱患者の痛み止めにはイブプロフェンやアスピリンなどの非ステロイド系の抗炎症薬の使用を避けねばならない、これらは却って出血リスクを高めることがあると注意喚起している。

蔡衛平氏は「医学界」に「非ステロイド系抗炎症薬には抗血小板凝集作用があり、」と説明している。「 Dengue熱患者の場合、患者さん自身に血小板異常がある可能性があり、そのような薬剤を使用するとさらに出血量が増えることがあります。更に、胃腸の症状もまたイブプロフェンやアスピリンによる一般的な副作用であり、特に胃潰瘍の既往歴を持つ Dengue熱患者では、これらの薬は消化管出血のリスクをさらに高めることとなります。」

「ですが一般的には、 Dengueウイルスに感染した後に重症化する確率は非常に低く、入院が必要な「中度」患者の大多数は、対症療法後すぐに退院できます。このことが、今年の感染状況が厳しい中において、医療機関へのプレッシャーはコントロール可能な範囲にあるのと同時に医療機関において大きな騒ぎが起きていない理由の一つです。」蔡衛平氏は語る。

今回の流行は徐々に沈静化するだろう 将来的にも予防管理が困難であろう

Dengue熱が我が国に持ち込まれ蔓延するのを防ぐため、税関総署は 10 月、 Dengue熱流行地域からの入国する疑似症例の検査のための迅速な報告や輸入される交通手段やコンテナ、貨物などの衛生検疫の実施、蚊の繁殖地の排除、港での蚊密度の監視と制御などを含む一連の措置を発表している。

データによると、過去 2 年間、 Dengue熱の症例のほとんどはラテンアメリカで発生し、次いでアフリカの一部と東南アジアで発生していることが分かる。が、 Dengueウイルスの媒介蚊は主にネッタイシマカとヒトスジシマカであり、これらの蚊は温度への適応力が高く、都市環境にも適応でき、比較的水が少なくても繁殖が可能であり、ウイルスは欧州各国や米国南部の州および中国に広まった。

蔡衛平は「医学会」に「ネッタイシマカは、我が国の広東省や広西チワン族自治区、雲南省などの地域にも分布しており、輸入症例が持ち込まれると、地元のネッタイシマカが患者を刺すことでウイルスが携帯されてさらにウイルスの蔓延を引き起こすことになる」と語った。

「当分の間、中国の専門家は Dengue熱ウイルスの感染源が「現地化」しているか否かを分析してきましたが、その後、新型コロナウイルス感染症の流行により世界的な人口移動が大幅に減少したため、国内の Dengue熱症例数も大幅に減少していますが、これは Dengue熱ウイルスが依然として主に輸入されたものであることを基本的に裏付けられたことが観察されたのです。」蔡衛平氏は語った。

感染媒体の特殊性により、 Dengue熱の予防管理には難しいものとなっている。「現在の予防管理方法は、主にヤブカの密度の監視や社区（地域のコミュニティのことです）レベルでの下水道の定期的な清掃、昆虫や蚊の駆除などとなっています。」蔡衛平氏は、「家庭内の溜まり水を取り除くには市民の協力が必要となるのです。」と語った。

さらに、気温上昇や大雨、高湿度、さまざまな繁殖地や殺虫剤に対する耐性の増加はすべて、近年世界中で Dengue熱の症例数が増加している重要な理由となっている。ある研究では、地球上の一部地域では、年間を通じ高温となる時間が徐々に延長され、特に媒介動物の繁殖サイクルが維持されるため、年間を通じてアウトブレイクが続くことさえあると指摘されている。

蔡衛平は、現在、一部地区の人々については、屋外活動に出かける際に長袖の服の着用や防蚊スプレーの使用によって蚊に刺されたり病気感染したりしないように努めることができると述べた。冬が到来するにつれ、今回の Dengue熱流行は自然に沈静化する。

しかし、長期的にはデング熱症例の増加傾向を制御する必要があり、**IJID Regions** に掲載された前述の論文では、疫学的監視や社区の参加と教育、環境管理及び公衆衛生インフラへの投資を継続してゆくことの必要性を強調している。

さらに記事は「**2**つのデング熱ワクチンの開発には既に大きな進展があったが、様々な年齢グループや血清型における有効性と安全性については、今後、特定の疫学的背景に基き策定されるのを待たねばならない」とも指摘している。

参考文献：

1.Global landmark: 2023 marks the worst year for dengue cases with millions infected and thousands of deaths reported

<https://www.sciencedirect.com/science/article/pii/S2772707624001309?via%3Dihub>

2. 世界的な高温③ | 高温で蚊が繁殖し「デング熱シーズン」が延長

出典： 医学界

編集者： 王航

校正： 臧恒佳

編集者： 趙静

<https://news.qq.com/rain/a/20241104A088Q300>

More than 10,000 people have been infected in Guangdong. When will this wave of epidemic end?

Tencent News

new.qq.com

2024-11-04

19:03

Source: Medical Community Official Account

After the second infection of dengue virus, the severity of symptoms may increase significantly.

According to the latest "Dengue Epidemic Monitoring Situation" released by Guangdong Provincial Center for Disease Control and Prevention, 1,785 new dengue cases were reported in Guangdong Province from October 21 to October 27. From September 9 to October 27, the total number of dengue cases reported in Guangdong Province has reached 10,295.

As a virus spread by mosquitoes, dengue fever has broken out on a large scale around the world in the past two years due to factors such as climate and urban environmental changes. Last year, the number of cases worldwide exceeded 6.5 million, the "highest in history", and the cumulative number of cases so far this year has exceeded 12.7 million.

Picture: Global dengue cases to rise sharply in 2024

China is an "imported region" for dengue fever. Affected by surrounding areas, the dengue fever epidemic situation this year is also relatively severe.

"This season is characterized by its long duration, roughly from the turn of spring and summer to the present day." Cai Weiping, chief expert at the Infectious Disease Center of the Eighth Municipal Hospital affiliated to Guangzhou Medical University, told the Medical World that "the duration of the peak of (dengue fever) infection is not much different from previous years. As the weather turns cooler, the epidemic will also decline."

Nearly 1/3 of the infected people have "typical symptoms"

Since September, disease control departments in many places in Guangdong have successively announced that dengue fever has entered the epidemic season, and the number of newly reported cases of infection exceeded 1,000 for the first time in the 39th week (September 23-September 29).

On October 21, the Guangdong CDC released the "Mosquito Map" for the first half of October. A total of 13 towns and streets where high-density monitoring points for vector Aedes mosquitoes are located were monitored in the province. Among them, Guangzhou has the most, with three, followed by Zhuhai, Shenzhen and Huizhou, with two each.

"First Financial Daily", reported that in order to ease the pressure of bed shortage, a tertiary hospital in Guangzhou previously used the wards of the Department of Traditional Chinese Medicine and the Department of Respiratory Medicine to treat dengue patients. On November 1, Guangzhou CDC published a post on its WeChat official account, stating that as of October 31, a total of 156 streets were carrying out dengue fever epidemic management, posing a risk of transmission.

Shenzhen Center for Disease Control and Prevention issued a reminder on November 2 that the risk of imported and local dengue fever outbreaks in Guangdong Province is high this year, and it is still in the high-incidence season. Currently, Shenzhen is carrying out local case outbreak response work in 25 communities in 8 districts including Futian District, Luohu District, and Nanshan District.

Foshan City is the region in Guangdong Province that has reported the largest number of dengue fever cases since the current round of epidemic, with a total of 2,935 cases reported in September and October.

Yesterday (November 3), medical staff from the infectious disease department of Foshan Fosun Chancheng Hospital told "First Financial Daily" that the department's beds are still relatively tight. "Some patients can be discharged within a week, but for some patients, it will take longer, so the bed turnover rate will be relatively slow."

Cai Weiping told "Medical World" that the vast majority of dengue virus infections are mild, and the clinical manifestations are similar to those of influenza, with fever and muscle aches. After taking appropriate antipyretics and resting at home, they will gradually recover over a period of time.

Image source: Guangdong News Channel official microblog

📖 Translated from the photo

Typical symptoms of dengue fever:

High fever: sudden high fever (over 40°C);

3 pains: severe headache, joint pain throughout the body, and muscle pain;

3 flushes: flushing of the face, neck, and chest;

Skin rash: congestive rash or petechial rash on the limbs, trunk, head, face, etc.

However, for some patients, dengue virus infection is not so "comfortable." On social platforms, many patients said that they had a high fever of 40 degrees after infection, accompanied by severe headaches, myalgia, body rashes, nausea, vomiting, etc., and the symptoms lasted for several days.

Cai Weiping explained to the "Medical Community" that nearly 1/3 of the patients have "typical symptoms", that is, the so-called "moderate patients", mainly manifested as severe and unbearable pain. "But not all patients with 'typical symptoms' need hospitalization. The clinical evaluation is mainly based on whether there is obvious bleeding, liver, kidney, myocardial damage, etc., and the necessity of hospitalization is comprehensively assessed."

"Except for conventional antipyretic and analgesic drugs, there is currently no good way to quickly relieve discomfort symptoms or shorten the course of the disease." Cai Weiping said that dengue fever is a self-limiting disease. Patients of this type need to survive the acute phase of 5-7 days before the symptoms subside.

Picture source: Internet

However, Cai Weiping also reminded that if symptoms such as convulsions, chest tightness, palpitations, rapid heart rate, or nosebleeds, non-menstrual vaginal bleeding, etc. occur during the period of home rehabilitation, it is necessary to focus on whether myocardial damage or platelet abnormalities have occurred, and go to the hospital for re-examination and evaluation as soon as possible.

Possible secondary infection, can't use ibuprofen?

On September 26, the official journal of the International Society for Infectious Diseases (ISID), IJID Regions, published an article stating that globally, the mortality rate of primary dengue virus infection is generally low, estimated to be about 0.01%-0.1%. The severity of secondary dengue virus infection rises sharply, and the mortality rate may reach 1%-4%.

"Subsequent infection" refers to a secondary infection. Currently, there are four different serotypes of dengue virus, due to the weak cross-immunity protection between different strains and the existence of ADE (antibody-dependent enhancement), infected people can still be infected again, and symptoms of a second infection can sometimes be more severe than the first.

"Secondary infection in a short period of time, advanced age, underlying diseases, obesity or malnutrition are all high-risk factors for severe dengue fever," said Cai Weiping. Severe patients need to be hospitalized for treatment, and the main intervention measures include supportive treatment of important organs, anti-shock treatment, and maintaining the patient's body fluid volume.

The "Guidelines for the Diagnosis and Treatment of Dengue Fever (2024 Edition)" states that early identification and timely treatment of severe cases are the key to reducing the mortality rate. Symptomatic and supportive treatment is the mainstay. There is currently no effective antiviral treatment. Cases should be treated in anti-mosquito isolation. If the illness lasts for more than 5 days, and the body temperature naturally drops to normal for more than 24 hours, the isolation can be released.

It is worth mentioning that the "Guidelines" point out that in symptomatic treatment, patients with persistent high fever can use antipyretic drugs such as acetaminophen and avoid using aspirin. Shenzhen CDC also issued a reminder on November 2 that dengue patients should avoid using non-steroidal anti-inflammatory drugs such as ibuprofen and aspirin when relieving pain, as they will increase the risk of bleeding.

Cai Weiping explained to the "medical community" that Nonsteroidal anti-inflammatory drugs have antiplatelet aggregation effects. "For dengue patients, they may have platelet abnormalities, and the use of such drugs may further increase the probability of bleeding. In addition, gastrointestinal symptoms are also common side effects of ibuprofen and aspirin. Especially for dengue patients with a history of gastric ulcers, these drugs will further increase the risk of gastrointestinal bleeding."

"But generally speaking, the probability of developing severe illness after dengue virus infection is very low, and most 'moderate' patients who need hospitalization can be discharged quickly after symptomatic treatment. This is one of the reasons why, although the infection situation seems severe this year, the pressure on medical institutions is still within controllable range and there has been no medical run." Cai Weiping said.

This round of epidemic will gradually subside Prevention and control will still be difficult in the future

In order to prevent dengue fever from spreading to my country, the General Administration of Customs issued a series of measures in October, including timely reporting and testing of suspected cases entering from dengue fever epidemic areas, health quarantine of imported vehicles, containers, goods, etc., removal of mosquito breeding grounds, monitoring and control of mosquito density at ports, etc.

A certain data shows that in the past two years, most dengue cases have occurred in Latin America, and be followed by Africa and parts of Southeast Asia. However, since the mosquitoes which carry the dengue virus are mainly *Aedes aegypti* and *Aedes albopictus*, they have strong adaptability to temperature, can adapt to urban environments, and can still reproduce in relatively water-scarce conditions, the virus has then spread to European countries, southern states of the United States, and China.

Cai Weiping told the "Medical World" that *Aedes* mosquitoes are also distributed in Guangdong, Guangxi, Yunnan and other regions in my country. Therefore, when imported cases are introduced, local *Aedes* mosquitoes will carry the virus by biting patients and further cause the virus to spread.

"For a while, Chinese experts analyzed whether the dengue virus infection source had become 'localized', but then observed that, as the global population movement has been significantly reduced due to the COVID-19 pandemic, the number of dengue fever cases in China has also dropped significantly, which basically confirms that the dengue virus is still mainly imported." Cai Weiping said.

Due to the particularity of the transmission medium, dengue fever prevention and control is difficult. "The current prevention and control measures mainly include monitoring the density of *Aedes* mosquitoes, regularly cleaning sewers at the community level, and killing insects and mosquitoes." Cai Weiping said, "Cleaning up household water requires the cooperation of citizens."

In addition, rising temperatures, heavy rainfall and high humidity, as well as the adaptability of mosquitoes to various breeding grounds and increased resistance to insecticides are all important reasons for the continuous increase in the number of dengue cases worldwide in recent years. Studies have pointed out that in some parts of the world, due to the gradual extension of high temperatures throughout the year, the breeding cycle of vectors can even be maintained, making the disease spread throughout the year instead of just outbreaks.

Cai Weiping said that for the public in some areas, they can try to avoid mosquito bites and infection by wearing sleeves and spraying mosquito repellent when going out. As winter gradually approaches, this round of dengue fever will naturally subside.

In order to control the increasing trend of dengue cases year by year in the long term, however, the aforementioned paper published in IJID Regions emphasizes the need to strengthen epidemiological surveillance, community engagement and education, environmental management, and continued investment in public health infrastructure in the future.

The article also pointed out that there have been significant progress in the development of two dengue vaccines, but their effectiveness and safety in different age groups and different serotypes remain to be verified, and detailed vaccination strategies need to be formulated in the future based on specific epidemiological backgrounds.

References:

1.Global landmark: 2023 marks the worst year for dengue cases with millions infected and thousands of deaths reported

<https://www.sciencedirect.com/science/article/pii/S2772707624001309?via%3Dihub>

2.Global high temperature③ | High temperature promotes mosquitoes to spread, and the "dengue season" is extended

Source: Medical World
Editor: Wang Hang
Proofreader: Zang Hengjia
Editor: Zhao Jing

..... 以下是中国語原文

广东超 1 万人感染，这波疫情何时结束？

腾讯新闻 new.qq.com 2024-11-04 19:03 来源： 医学界官方账号

登革病毒二次感染后，症状严重程度或大幅上升。

据广东省疾控中心最新公布的“登革热疫情监测情况”，10月21日-10月27日，广东省新增报告1785例登革热病例。从9月9日-10月27日，广东省累计上报的登革热病例已达10295例。

作为一种经由蚊子传播的病毒，由于气候、城市环境变化等因素，近两年登革热疫情在全球大规模暴发，去年全球的病例数超过650万，是“史上最”，而今年截至目前的累计病例数已超过1270万。

图片：2024年全球登革热病例急剧上升

我国是登革热的“输入性地区”，受周边地区影响，今年的登革热疫情形势也相对严峻。

“本次流行季的特点是持续时间长，大概从春夏之交一直延续至今。”广州医科大学附属市八医院感染病中心首席专家蔡卫平对“医学界”表示，“（登革热）感染高峰持续时间和往年并无太大不同，随着天气转凉，疫情也将迎来回落。”

近 1/3 感染者属于“典型症状”

从9月开始，广东多地疾控就陆续宣布登革热进入流行季节，新增报告的感染病例数在第39周（9月23日-9月29日）首次破千。

10月21日，广东疾控发布了10月上半月“蚊子地图”，全省共监测到13个媒介伊蚊高密度监测点所在镇街，其中广州市最多，有3个，其次为珠海市、深圳市和惠州市，各有2个。

为了缓解床位紧张的压力，据“第一财经”报道，广州的一家三甲医院此前将中医科、呼吸科的病房用来收治登革热患者。11月1日，广州疾控在微信公众号发文，截至10月31日，共有156个街道正在开展登革热疫情处置，存在传播风险。

深圳市疾控中心则在 11 月 2 日发布提醒称，今年广东省登革热输入疫情和本地疫情风险高，现在仍处在高发季节。目前，深圳市正在福田区、罗湖区、南山区等 8 个区累计 25 个社区开展本地病例疫情处置工作。

佛山市则是本轮疫情流行以来，广东省内报告登革热病例数最多的地区，9 月和 10 月已累计上报 2935 例。

昨日（11 月 3 日），佛山复星禅诚医院感染科医护人员对“第一财经”介绍，目前科室的床位仍然比较紧张。“有些患者住进来，大概一周内就可以出院了，但有些患者，时间会延长，因此病床周转率会相对较慢一些。”

蔡卫平告诉“医学界”，绝大多数登革病毒感染患者都是轻症，临床表现和流感具有一定的相似性，发烧、肌肉酸痛，在适当服用退烧药、居家休息后，一段时间就会逐渐康复。

图源：广东新闻频道官微

但对于少部分患者而言，感染登革病毒就没那么“好受”了。在社交平台上，不少患者表示自己感染后高烧至 40 度，同时伴有剧烈的头痛、肌痛、全身红疹、恶心、呕吐等，症状持续数日。

蔡卫平对“医学界”解释，有近 1/3 的患者属于“典型症状”，也就是所谓的“中度患者”，主要表现为剧烈、难以忍受的疼痛。“但并非所有‘典型症状’患者都需要住院治疗，临床主要根据是否有明显出血，肝、肾、心肌等损伤的倾向，综合评估住院的必要性。”

“除了常规的解热镇痛药，目前并没有太好的方式能迅速缓解不适症状或缩短病程。”蔡卫平表示，登革热属于自限性疾病，这类患者需要熬过 5-7 天的急性期，症状会随之消退。

图源：网络

但蔡卫平同样提醒，居家康复期间，若出现惊厥、胸闷、心悸、心率加快，或是流鼻血、非月经期阴道出血等症状，则需要重点考虑是否引起了心肌损害、出现血小板异常，第一时间前往医院复查评估。

可能二次感染，不能用布洛芬？

9 月 26 日，国际传染病学会 (ISID) 官方期刊 IJID Regions 发表文章指出，全球范围而言，原发性登革病毒感染的病死率通常较低，估计约为 0.01%-0.1%。而继发性登革病毒感染的严重程度则急剧上升，病死率可能达到 1%-4%。

“继发性感染”指的是二次感染。目前，登革病毒有四种不同的血清型，由于不同型别毒株交叉免疫保护弱和 ADE（抗体依赖增强作用）效应存在，感染者依然有被再次感染的可能，并且二次感染有时会比第一次的症状更重。

“短期内的二次感染、高龄、基础疾病、肥胖或者营养不良等，都是导致重症登革热的高危因素。”蔡卫平表示。重症患者需住院治疗，主要干预手段包括重要脏器的支持治疗、抗休克治疗、维持患者体液容量等。

《登革热诊疗指南（2024 年版）》指出，重症病例的早期识别和及时救治是降低病死率的关键，以对症支持治疗为主，目前尚无有效抗病毒治疗药物。病例应采取防蚊隔离治疗，病程超过 5 天，且体温自然下降至正常超过 24 小时可解除隔离。

值得一提的是，“指南”指出，在对症治疗上，高热不退者可使用对乙酰氨基酚等退热药物，避免使用阿司匹林。深圳疾控也在 11 月 2 日发布提醒，登革热患者在止痛时，要避免使用布洛芬和阿司匹林等非类固醇抗炎药，它们会增加出血风险。

蔡卫平向“医学界”解释称，非类固醇抗炎药有抗血小板聚集的作用，“对于登革热患者，本身可能存在血小板异常，使用这类药物可能会进一步增加出血的概率。此外，胃肠道症状也是布洛芬、阿司匹林常见的副作用，尤其对于有胃溃疡病史的登革热患者，这类药物会进一步加剧消化道的出血风险。”

“但总体而言，登革病毒感染后发生重症的概率是很低的，大多数需住院的‘中度’患者在对症治疗后，也能很快出院。这是为何今年看似感染形势严峻，但医疗机构承受的压力仍在可控范围、未发生医疗挤兑的原因之一。”蔡卫平表示。

本轮疫情将逐渐消退 未来防控仍存在难度

为防止登革热疫情传入我国，10月，海关总署发布了一系列措施，包括对自登革热疫情地区入境的疑似病例人员及时申报检测，对输入的交通工具、集装箱、货物等进行卫生检疫、清除蚊虫滋生地，监测和控制口岸蚊虫密度等。

有数据指出，近两年，登革热病例大多出现在拉丁美洲，其次是非洲和东南亚部分地区。但由于携带登革病毒的蚊子主要是埃及伊蚊和白纹伊蚊，对温度的适应性强，能够适应城市环境，且在相对缺水的情况下仍可繁殖，病毒进而又蔓延至欧洲各国、美国南部各州以及中国。

蔡卫平告诉“医学界”，伊蚊也分布在我国广东、广西、云南等地区，因此当输入性病例传入后，本地的伊蚊会通过叮咬患者从而携带病毒，并进一步造成病毒扩散。

“有段时间，我国专家曾对登革病毒传染源是否出现了‘本地化’展开过分析，但随后观察到，在新冠疫情造成全球人口流动大幅减少的情况下，国内的登革热病例数也大幅下降，这基本确定了目前登革病毒仍以输入性为主。”蔡卫平说。

由于传播媒介的特殊性，登革热的防控存在一定难度。“目前的防控手段主要包括对伊蚊密度进行监测，在社区层面定期对下水道进行清理，杀虫灭蚊等。”蔡卫平说，“而清理家庭积水，则需要市民的共同配合。”

此外，气温升高、强降雨和高湿度，以及蚊子对各种繁殖地的适应性、对杀虫剂的耐药性增强，都是导致近年来全球登革热病例数不断上升的重要原因。有研究指出，全球部分地区由于全年高温时间逐渐延长，甚至可以维持病媒的繁殖周期，使疾病传播全年持续而不仅仅是暴发。

蔡卫平表示，目前对部分地区的公众而言，在外出活动时可以通过穿戴袖套、喷驱蚊液等方式，尽量避免被蚊虫叮咬从而染病。随着逐渐进入冬季，本轮登革热疫情将自然消退。

但要长期控制登革热病例逐年增长的趋势，前述发表在 *IJID Regions* 的论文强调，未来需要加强流行病学监测、社区参与和教育、环境管理，以及对公共卫生基础设施的持续投入。

文章还指出，目前已有两款登革热疫苗的开发有重大进展，但它们在不同年龄组、不同血清型中的有效性和安全性仍有待验证，未来还需根据特定的流行病学背景，详细制定疫苗接种策略。

参考文献：

- 1.Global landmark: 2023 marks the worst year for dengue cases with millions infected and thousands of deaths reported <https://www.sciencedirect.com/science/article/pii/S2772707624001309?via%3Dihub>
- 2.全球高温③ | 高温助长蚊虫肆虐，“登革热季”延长

来源：医学界
责编：汪航
校对：臧恒佳
编辑：赵静